

## A-11 八ヶ岳阿弥陀岳南稜

【山行日】2022年3月12日～13日

【CL】3547 【参加者】3547、3659、3734、3745

【コース】12日 9:50 舟山十字路…10:35 南稜取付き…13:50 青ナギ手前の高台(テント泊)  
13日 5:35 テント撤収…6:45P1…6:55P2…7:35～8:35P3 ルンゼ登攀…8:45P4…8:55～9:10  
阿弥陀岳…御小屋尾根下降…12:00 舟山十字路

今回はテント泊装備と登攀装備を背負い、2日間にわたって周回登攀をするので、軽量化を徹底し、核心部を通過する2日目のザックの重さは1人11kg以内に収めた。

1日目は、舟山十字路駐車場から45分ほど林道を歩き、南稜への取付きに着いた。取付きから南稜の上に乗るまでは、わずか15分だった。南稜に乗ってしまえば、あとはひたすら尾根道を登るのみである。

登り一辺倒の雪道に疲れた頃、傾斜が緩くなり、直下に青ナギを臨む高台の上のテント泊地に着いた。ここはとても景色が良く、阿弥陀岳、権現岳が正面に見える最高のシチュエーションである。



阿弥陀岳。右のスカイラインが南稜

天気も快晴で、陽の光の傾きと共に変化していく山の景色を楽しんだ。

2日目は、南稜の核心部 P3 ルンゼを登る。雪の状態によっては不安定極まりない登攀を強いられる所だ。ルンゼ内がカチカチに凍っていても、あるいはグサグサやささらでも、それとも雪がなくて岩が出ていても、どんな状態でも対応できるように、スノーバーのほか、カムやアイススクルーまで持ってきた。

P1、P2 は特に問題なく通過。核心の P3 ルンゼは…。雪質バッチリだった。バイルとア



P3 ルンゼの登攀

イゼンがサクサク刺さり、バッチリ登りやすいルンゼと化していた。

P3 ルンゼを 50m ロープいっぱいまで登った所でピッチを切り、スタンディングアックスビレイでフォローを上げる。フォローはその上 3m の所にある大岩に打たれたボルトまで登ってセルフビレイ。2ピッチ目は傾斜がやや落ち、30m ほどで稜近くの終了点のハイマツ帯にたどり着いた。

P4 は難なく通過し、そこから阿弥陀岳頂上まではすぐだった。

下山は長大な御小屋尾根を選択した。雪山の下山は雪がクッションになり、降りるのは早い。3時間も掛からずに下山した。(3547)



阿弥陀岳頂上